

毛無岩山行報告

【山域】西上州

【ルート】毛無岩

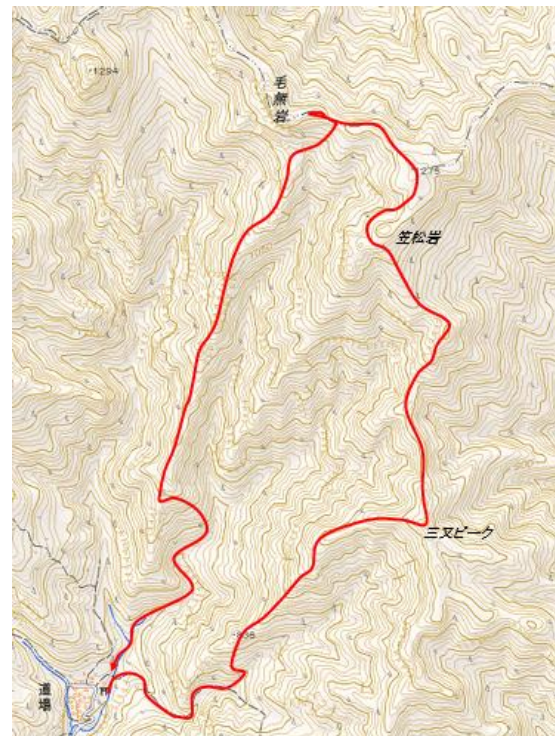
【登山方法】ヤブ山登山

【日程と天気】2017年12月10日（日）晴れ

【メンバー】CL 柘植、SL 石橋、澤田（淳）、菌田（記録）

【行程】

道場集落（駐車）7：50→三又ピーク 9：50→笠松岩手前 10：45→巻き終了稜線 11：20→毛無岩東の
コル 11：40→毛無岩手前（山頂断念）→毛無岩東のコル→15：00 南尾根を下降して道場集落



【内容】

下仁田から南牧村まで車を走らせ、道場の集落の道幅の広いところで路肩に駐車し、7：50 出発。先ずは山神社にて今日の登山の安全を祈願する。神社の横を下りて赤い鉄の橋を渡り、沢の左岸に出て沢沿いを登っていく。赤テープを辿っていくが、テープをすぐに見失ってしまう。ヤマレコにあった石積みみのところから尾根にとりつき、木の枝につかまりながら急斜面を登っていく。その先は楽勝かと思いきやなかなかの岩場もあり、気の抜けないルートだ。

大屋山からの尾根と合流する三又ピークを越え、笠松尾根に出ると熊の糞を発見。昨日の妙義の大烏帽子に登る尾根でも熊の糞をたくさん見ていたので恐怖心はなかったが、その直後リーダーが「わあー！」と大きな声をあげた。動物が斜面を下りていく音がした。きっと熊に違いない。登りの土の斜面には10数センチの丸っこい足跡があり、やはり熊だろう。

ここからは熊鈴を鳴らしながらさらに登っていく。足場の悪い急斜面が続く。どこもかしこも気を抜けない。しばらく登ると笠松の岩屋が現れた。岩の左側をトラバースするが、うっすら雪がついていてやらしい。

緊張しながら通過し、1275Pの手前の土の斜面を登っている途中で枯れ木を掴んでバランスを崩し、自

分自身が腹ばいになったまま、滑り落ちてしまった。冷静ではあったが、止まりそうで案外止まらず、トラバース道のところでやっと止まり、怪我もなく一安心する。気を取り直して登り東コルの分岐に着く。見晴らしが良く、北側には雪をいただいた浅間山、南には八ヶ岳が良く見える。



今日はヘルメット装着で安全確保



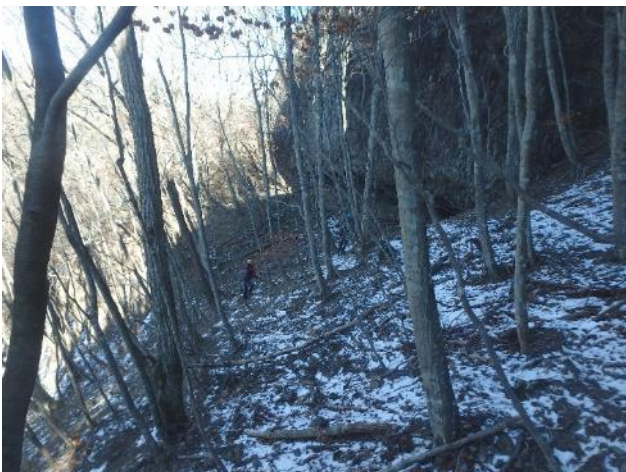
明るい枝尾根ピーク(背後は立岩～毛無岩への稜線)



三俣ピークへの登行



笠松岩は正面を登れずに左斜面へ



西斜面は陽もあたらず凍った斜面のトラバース



急斜面を笠松岩の上に出るとそこは天国

そこから毛無岩に向けて小ピークを越えていくが、北斜面に雪がついているため、ここで軽アイゼンをつけた。そして毛無岩頂上の手前の下りに差し掛かる。ここはロープを出して安全を確保したいところだ。しかし、ロープを出すとそれなりに時間を取られてしまう。日の短いこの時期は早めに降りなければ日が暮れてしまう。リーダーの素早い判断で登頂はあきらめ、ここから下山開始する。

東コルの分岐まで下り、縦走路に出る。踏み跡がはっきりわかり、少し安心できたが、尾根コースもナイフリッジあり、トラロープのついた足がとどかないトラバースありで笠松コースほどではなかったがなかなかの急勾配を下り、堰堤は左側を巻いて山神社に戻ることができた。帰りは下仁田の大島鉱泉で汗を流して帰葉した。



毛無岩東のコルには朽ちかけた道標



展望岩付近から毛無岩を望む

【山行を振り返って】

今回山頂直前で、時間がないことと北面に雪がついていて危険なため引き返しましたが、わたしは内心ホッとしてしまいました。

ベテランのリーダー、ベテランの先輩がいてやっと怪我もなく下りてこられました。

次回リベンジ？ もう行きたくないなあ・・・というのが本音です。

山行報告： 藺田 富久美